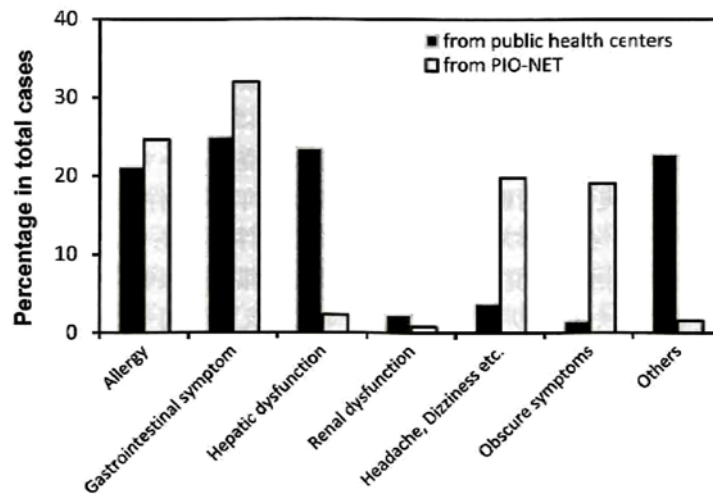


「健康食品」との関連が疑われる健康被害の状況

- 「健康食品」により体の不調を感じたことがある人は、4%。
(平成 21 年度東京都福祉保健基礎調査「都民の健康と医療に関する実態と意識」)
- 保健所及び PIO-NET に寄せられた健康被害で多かった症状は、消化管の不調及びアレルギー。
(梅垣敬三他：健康食品に関する健康被害事例の情報源およびその有用性評価. 食衛誌 2013;54:282-289)



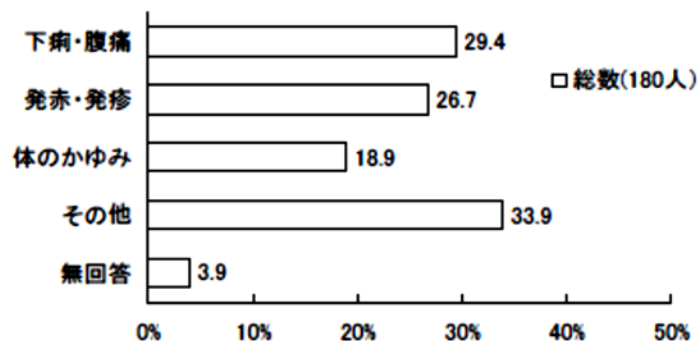
- 症状・異常所見等で最も多かったものは「発疹・発赤・掻痒」で 91 名 (31.5%)
(平成 26 年度第 2 回「健康食品」による健康被害事例専門委員会からの報告)

症状・異常所見等	患者数
発疹・発赤・掻痒	91
肝機能障害、肝機能検査値異常	38
胃痛・胃部不快感・吐き気	30
下痢・軟便	22
頭痛・吐気	8
めまい・ふらつき	7
便秘	6
血圧上昇	6
尿酸値上昇	3
その他 ¹⁾	78

※ 複数回答あり

1) 検査値異常 (肝機能検査値・尿酸値を除く)、味覚異常等

- 体の不調で最も多かったものは、「下痢・腹痛」で 29.4%。
(平成 21 年度東京都福祉保健基礎調査「都民の健康と医療に関する実態と意識」)



注：症状・異常所見と製品との因果関係については、疑わしいものとして情報提供を受けたものであるが、確定された事例はない。

- 個々の「健康食品」との関連が疑われる健康影響事例
東京都食品安全情報評価委員会報告「健康食品」の安全性に係る情報の検討 平成 18 年 3 月 29 日 P17, 59-61 参照 机上配布資料 2